

地域連携活動を  
止めるな!!

産大生と地域のかけ橋

# ローカレッジ

Local × College



新潟産業大学 × 新潟工科大学  
まちかど研究室  
二大学共同プロジェクト  
ご当地すごろく かしワンダー  
～柏崎市を駆けめぐれ!～



## 柏崎冬のフェスティバル

～柏崎の冬を若者の力で盛り上げ隊～

卒業生インタビュー

長野県木祖村 地域おこし協力隊



新潟産業大学 × 柏崎常盤高校  
あんこジャムPR 食物部と対談  
「総合的な探究の時間」交流授業



経済経営学科「地域活性ゼミナール」

年に一度の産大のお祭り 紅葉祭 NSU 写真部

# 柏崎冬のフェスティバル

～柏崎の冬を若者の力で盛り上げ隊～

vol.2

地域の方々と大学生が交流し、柏崎の冬を元気にするイベント  
2020年の初回開催から3年ぶりの開催となりました。



nao dance school



新潟産業大学書道部

## ステージイベント



出店者集合写真

ステージイベントでは3つの団体が発表を行いました。前回は引き続き、nao dance schoolの皆さんによるダンス発表、新潟産業大学と新潟産業大学附属高校による吹奏楽部のコラボ演奏、そして新たに、新潟総踊り連「風雅」によるよさこいの公演が行われました。ステージイベントには多くの観客が集まり、イベントを盛り上げてくれました。また、イベントの最後には、来場者全員が参加できる抽選会も行われました。

## 飲食・体験ブース

会場には、学内外から計15の団体による飲食・体験ブースの出店がありました。県内の他大学からの出店もあり、新潟大学からは「ダブルホーム おむすび・縁結びプロジェクト」と「SDGsみらい研究会」の活動紹介。新潟工科大学からは「再生可能エネルギー研究部」がスライム作り体験を行いました。新潟産業大学からは、写真部、書道部、茶道部、学友会や、学友会OB、金ゼミナールなど、多くのブースが出店されました。

### 新潟大学

### 新潟工科大学



新潟総踊り連「風雅」



新潟産業大学&新潟産業大学附属高校吹奏楽部



いろはや製菓所



ダブルホーム&SDGsみらい研究会



再生可能エネルギー研究部



新潟産業大学OB



金ゼミナール

今回の「柏崎冬のフェスティバル」は、コロナ禍で発表の機会の少なかった団体や、コロナ禍に地域活動で出会った方々と共に開催することが出来ました。皆さんにとって有意義なイベントとなっていたら、嬉しいですね。多くの方のご協力もあり、来場者数は約250人程で、イベント自体の需要の高さを感じたため、来年以降も開催し、柏崎の冬に定着するイベントを目指したいです。



nao dance school



4年有志 フライドポテト



平田表具店



東京電力 エコロン

柏崎地域の方々からの出店もあり、平田表具店から「蒔絵コースター作り体験」、いろはや製菓所から「あんこスイーツ」、FREAK FLEEK から「食品サンプル作り体験」、東京電力から「発電所内VR体験」、また、東京電力からは、柏崎刈羽原子力発電所公式キャラクターである「エコロン」も会場に来てイベントを盛り上げてくれました。たくさんの方に出演して頂き、各ブース賑わいを見せていました。



FREAK FLEEK



新潟産業大学写真部





## より道カード

スポットマスに止まった時にもらえるカード。柏崎の素敵な場所が書いてある。カードにはギミックが仕込まれており、何を引くかによって勝敗が大きく変わるかも？

## お買い物カード

ショップマスに止まるともらえるカード。柏崎で買える素敵なものが書いてある。風輪通貨を消費して獲得できる。様々な商品をGETしよう！



## イベントカード

イベントマスに止まるともらえるカード。柏崎で行われるイベントが書いてある。風輪通貨をたくさん消費する代わりに、GETできたら逆転のチャンス！



## ボードゲーム こんな感じ♪

### 盤面



ボードゲームの盤面。「ボランティア」「スポット」「ショップ」「イベント」のマスが配置され、各マスでカードを集めていく。(新潟工科大学制作)

### 風輪通貨



ゲーム内で使用する通貨。新潟産業大学で実際に運営している地域通貨をモデルにしている。



# ご当地すごろく かしワンダー ～柏崎市を駆けめぐれ！～

## 二大学共同プロジェクトとは

まちかど研究室の活動の中の、「新潟産業大学と新潟工科大学の学友会が連携・協力して企画するプロジェクト」のこと。令和元年度までは「まち研スタンプラリー」を実施し、柏崎の中心市街地を中心に活動していましたが、新型コロナウイルスの影響を受け、イベントの実施は難しくなりました。

そんな中でも活動を続ける「二大学共同プロジェクト」を紹介します！

## 新型コロナウイルス禍での活動

新型コロナウイルス禍の中でもできる活動がないか、両大学で模索しました。対面形式にこだわらず、様々な視点で検討し、最終的に「比角小学校訪問」「半田小学校オンライン交流会」「商店街へのヒアリング」を令和2年度に行いました。小学校との交流会では、小学生ならではの視点で柏崎の魅力を発表してもらったり、SDGsを取り入れた「理想のまち」について考えたりして、まちづくりに関しての新たな発見がありました。ヒアリングでは、商店街の現状についてお聞きし、課題が浮き彫りとなりました。新型コロナウイルス拡大後に行ったこれらの活動から、より今後の活動の重要性を認識しました。



↑令和5年2月7日に2年ぶりに行った比角小学校訪問の様子。

## ボードゲーム制作

令和3年度になっても、依然として新型コロナウイルスの影響を受けながらの活動が続いていましたが、令和2年度の活動を受け、新たな企画を模索しました。「地域活動・学生発表交流会」でもプレゼンの機会をいただき、県内他大学の学生、教職員の方々から多くの意見をいただきました。そうして柏崎のまちを模したボードゲーム「ご当地すごろく かしワンダー」(柏崎市を駆けめぐれ！)の制作が決定しました。

## ボードゲームのルール

「人生ゲーム」を参考にゲームとして成立するためのルールについて話し合いを重ねました。「人生ゲーム」と最も違う点は、お金を一番獲得した人が勝ちではなく、イベントやショップのカードに書かれているポイントで決まるという点です。ポイント獲得の為に、通貨をたくさん消費してポイントを集めていく必要がある。要するに、「柏崎市内で多くのボランティア活動に取組み、そうして得た通貨を市内で消費し、柏崎の魅力(美味しいものや楽しいイベント)を発見した人が勝ち」となるゲームです。また、ゴールをした人からポイントの高いふるさと納税を選べるようになっていたので、様々な勝ち筋を考えながら遊ぶことも求められるようになっていきます。

## 今後の活動

スタンプラリーに替わる新しい企画を立ち上げたいという問題意識から、気がつく約3年が経過しました。今後、二大学共同プロジェクトの活動としては、ゲームのクオリティをさらに高め、大学内の歓迎会や小学生との交流での使用したいと考えています。さらには「大人から子どもまで多くの方に楽しんでもらえるゲーム」を目指したので、様々な方が触れていただけるように企画を進めていきたいと考えています。新型コロナウイルス拡大から活動継続が厳しい期間が続きましたが、模索を繰り返しながら続けて来ました。そんな中完成したこのボードゲームをぜひ、遊んでみてください！

## 祝 最優秀賞



↑「柏崎に関する研究発表会」で二大学共同プロジェクトとして発表を行い、「最優秀賞」をいただきました。



←新潟産業大学附属高校生徒会のみなさんと遊んできました。

# 柏崎常盤高校

## 「大学と連携した総合的な探求の時間」での交流授業

12月14日、柏崎常盤高校にて、高大連携の取組みとして「総合的な探求の時間」へ産大生も参加しました。卒業後の進路について探求する高校生たちの悩みに、アドバイスや体験談を交えながらともに考え、進路の実現についてよりはっきりとしたビジョンを見出すお手伝いをさせていただきました。



柏崎常盤高校では毎週水曜日に「総合的な探求の時間」という授業を行い、生徒は自身の進路や将来像を見据えるための学びに励んでいます。また、時には外部の企業や、社会貢献活動に取り組む方々による講演会を行い、模範となる姿を学ぶ取り組みをしています。今回は2年生の「総合的な探求の時間」に、同校卒業生3名を含む新潟産業大学の学生、総勢12名が参加し、交流の機会を得ることができました。授業では同じ地元である大学生と高校生が、進路選択という課題に対して共に考え、意見を出し合うことで、常盤高校の学生にとつての進路選択や将来についての意識向上につなげるという目的のもと、4つの教室、12の少人数グループに分かれて行われました。



高校生との話し合いのなかで、大学選択に関する悩みや、学生生活の過ごし方、高校生活での勉強時間の目安など、様々な高校生達からの質問や悩みに大学生は親身に答え、時には自身の体験談を交えつつ、人生の歳が近い先輩としてのアドバイスを提案するなど、高校生、大学生の双方としても、非常に有意義な時間となりました。今回の授業に参加した新潟産業大学4年生の橋本竜平さんは、進路に関するの話し合いを振り返り「高校生にアドバイスをする一方で、体験談を通して自分自身を見つめなおすいい機会になりました。」と語りました。



# 新潟産業大学×いろはや製菓所 あんこジャムPR

## に関する食物部との対談

柏崎市内「いろはや製菓所」の誇る「あんこジャム」のPR制作に柏崎信金を通じて取り掛かり2年が経ちました。そのPR活動に関して、新潟日報取材のもと、制作に携わった権田ゼミ生と柏崎常盤高校食物部とで対談を行い、食を通じたまちづくりについて語り合いました。



# 新潟産業大学×柏崎常盤高校特集



柏崎信用金庫を通じた産学連携プロジェクトの一つとして手がけたあんこジャムPR。その「あんこジャム」を題材にした柏崎常盤高校食物部とPR動画を制作した産大権田ゼミ生との対談が、あんこジャムの販売元、いろはや製菓所の運営する「甘味処館庵」にて行われました。対談の中であんこジャムを用いたアレンジレシピの実食やPR動画の視聴を通して、あんこジャムの新アレンジ案など、PR活動のこれからを考えるとともに、食を通じたまちづくり活動について語り合いました。また、この対談は新潟日報の取材のもと行われ、その様子が令和4年度12月4日の日報の「まいにちふむふむ」のコーナーにて紹介されました。



# 菅原 綾太さんにインタビュー

新潟産業大学文化経済学科権田ゼミを2022年3月に卒業。現在、長野県木祖村の地域おこし協力隊として活動する菅原さんにお話を伺いました。



菅原 綾太さん  
2000年生まれ。新潟県新潟市出身。  
卒業後は木祖村の地域おこし協力隊に。  
農業を中心に様々な活動を行っている。  
面白い話があればぜひ誘ってください。  
木祖村について  
・人口 約2,500人  
・名産 御嶽はくさい

い、申し込む前に木祖村に行き、案内してもらいました。実際に見て、案内の方が丁寧で説明してくれ、住民との距離が近いことから木祖村に決めました。



▲ 収穫された野菜たち

## 業務内容

業務としては、メインの農業だけでなく、『地域おこし新聞』（広報紙）を地域おこし協力隊の3人で毎月発行しています。また、木祖村は人手不足なので困っている村民の方の手助けが多いです。冬の時期は農産物加工場でお手伝いをしていきます。野菜や、加工場で加工された商品は道の駅などで販売もされています。1年目なので手伝いや小さい畑でいろいろなものを育てていますが、来年度からは大きな畑を借りられることになったので、村として力を入れていこうと思っています。トウモロコシを育てていこうと思っています。

## やりたいことを形に



社会にもまれ、疲れた人々にとって自然の多い場所での地域おこし協力隊が受け皿になり、協力隊の期間中に自分のやりたいことを見つけて、生きていく術を探していく。卒業後に自分で起業など、その地に根ざした生活をしていくことが地域おこし協力隊の本質だと思っています。協力隊はできたばかりの制度なので、まだ村の人たちも手探り状態です。なので、うまく使えれば、自分のやりたいことを形にできたり、自分の生活に合った仕事ができたりします。また、大学時代の地域とかかわりのある活動が村に行っても活かせるというのも魅力の一つだと思います。

▼ 木祖村地域おこし協力隊 (左から菅原、平野、坂口)



ホームページは下のQRコードから



## なんだってできる場所

今後は事業を起こすなり、卒業後を見据えた何かを見つけたいですね。できれば卒業後も木祖村に残りたいと思っています。その一つが大きな畑でのトウモロコシづくりです。農業で生計を立てられるのかを見極めようと思います。他にも可能性はたくさんあります。人も会社も少ない。やろうと思えばなんだったってできる場所です。ねらい目なものを見つけられたら事業を起こしたいと思っています。

## メッセージ

社会人になってから分らないことを聞く力、コミュニケーション能力の大事さを実感しました。大学生のうちに関わり身に着けておくといいと思います。就活をするうえで自分が何をやりたいかが大切だと思います。結局、世界は自分中心なので。安定を求めるよりも、自分のやりたいことを選んでほしいです。

# たかだ竹あかり 3年ぶりの開催

9月25日に、柏崎市史跡「飯塚邸」にて「たかだ竹あかり」が開催されました。今年も、規模を縮小しましたが、無事開催することが出来ました。

## たかだ竹あかり

令和4年9月25日、3年ぶりに柏崎市内の史跡・飯塚邸にて「たかだ竹あかり」が開催され、竹灯籠を用いた庭園のライトアップが行われました。今回の竹あかりはコロナ禍ということもあり、PRはあまりせず、地域の方を中心として、規模を縮小しての開催となりました。また、残暑も厳しい中、秋雨前線も押し寄せ、予定日だった24日が延期となり、予備日の25日に無事開催することができました。



▲ 竹灯籠にあかりを灯している様子

## 産大生もお手伝い

産大生も竹の選別作業などの準備段階から関わらせてもらいました。当日は設営から運営スタッフとして竹灯籠を配置し、あかりを灯す作業や運営スタッフとして受付や誘導を行うのと同時に、地域のコラボ商品である蒔絵コースターの販売を行いました。



夜になるとより幻想的に！



▲ LEDで色鮮やかにライトアップされた竹もきれい!!



## たかだ竹あかりに参加して

1年生の頃に参加して以来、3年ぶりに開催することができ、懐かしさと達成感を感じました。来年以降もぜひ開催して多くの人に見てもらいたいと思います。(文化経済学科4年 本間陸斗)

昨年、竹灯籠の色を塗る作業や竹伐採のお手伝いをしたのですが、直前で開催中止となり大変残念でした。しかし今年開催することができ、幻想的な景色を見ることができて感動しました。(文化経済学科3年 木内亮吾)



## 年に一度の産大のお祭り 紅葉祭

令和4年10月15日に新潟産業大学で「紅葉祭」が開催されました。今回は新型コロナウイルス感染症対策の為、例年とは違い1日だけの開催、参加者を学生と教職員、当日のオンラインキャンパスに参加した高校生のみに限定した上での開催となりました。多くの方が来場されました。



### 模擬店

紅葉祭では多くの学生が模擬店を出店してくださりました。高橋ゼミでは3年生と4年生に分かれて模擬店を出店、4年生はハンバーグ、3年生では水餃子とそれぞれ違う料理を出店していました。どちらも完成度は非常に高く、多くの方が買いに行かれていました。春日ゼミからは新潟名物であるポッポ焼きをたこ焼き機で作り、デコレーションした独自のオリジナル商品が販売されました。他にもバイト先のお店の味を再現した浜焼き、例年順番待ちが発生する焼きそば、ボードゲームサークル渾身のチョコバ



↑黒川先生とゼミ生のお2人



←浜焼き屋店主

### 文化部・ゼミ

紅葉祭では様々な部活動やゼミが教室や紅葉祭特設ステージを使用し、多彩なイベントを行いました。教室ではチューター主催の「私の主張」や安達ゼミの研究発表会などが行われました。2階学生ホールでは書道部による書道体験、茶室では茶道部によるお茶体験など、普段体験できないことで楽しめます。講堂では吹奏楽部と産大附属高校との合同演奏会、ステージでは軽音部の演奏、メインイベントであるビンゴ大会など多くの方が見に来られました。

左上 軽音部の演奏  
中段右 203教室のポウリング  
下弾 吹奏楽部と附属高校吹奏楽部との合同演奏



↑コンテスト入賞店舗による記念写真



↑トマトソースのハンバーグと半熟の黄身が最高に合います！



↑目の前で茶道部員がお抹茶を点ててくれます



←書道部による書道体験

チューター主催のイベント私の主張↓



### ビンゴ大会

紅葉祭のフィニッシュを飾ったのはビンゴ大会でした。今回のビンゴ大会の目玉景品は、アマゾンギフトカード5万円分や、任天堂Switch。かなり豪華な景品ということもあり、学生たちの気合ははとてつもないものでした。さらに今回のビンゴ大会では一番の目玉景品であるアマゾンギフトカードが最後の最後まで残り、終始盛り上がったラストのイベントとなりました。



### 学友会の紹介

学友会は、紅葉祭などといった学内イベントの企画・準備・運営や地域イベントのボランティアの参加を主な活動としています。「学友会」と聞くとき硬く、真面目そうなイメージがありますが、個性豊かで明るく馴染みやすい学生で溢れています。学友会での活動をしていく上で学内外で新たな関係を築いたり、新しいスキルを身につけたり、今まで気付けなかった自分の長所を発見したりなど、多くのことが得られます。

### 新メンバー募集中!

- ・イベントの計画が好きな人
- ・大学でやりがいを求める人
- ・新しい自分を見つけない人
- ・大学での居場所が欲しい人
- ・地域の人と関わってみたい人
- ・部活などに入ろうか悩んでいる人



など



クリーンデーで学内外のゴミ拾いを!



クリスマスパーティーはビンゴやクイズで大盛り上がり!



白熱したスポーツ大会!



潮風マラソンの給水所ボランティア



産大付属高校と海岸清掃

毎週金曜日  
5限の時間に  
203教室で  
待ってるにゃ



▲学友会会長 吉野 和真

コロナ禍が落ち着いてきている中で学友会でも活動できる内容が増えてきます。地域での活動が自分のスキルになる事も沢山あります。ぜひ学友会に入ってみては...!!

# 経済学部 経済経営学科 3、4年次 地域活性化ゼミナール 紹介

## 経済分析・経済予測分野 黒岩ゼミナール

黒岩ゼミナールでは、全体を通して地域経済に重きを置いた活動を行いました。

3年次では、「経済学を通じて経済を考える」をテーマとして、様々な経済学にふれました。その応用についても学んだり、また、Excelにも触れたことが、4年次に学んだ産業連関分析の下地になりました。さらに地域での活動として、阿部ゼミナールなどと協力し、風輪通貨プロジェクトに携わり、商店街での回収作業に取り組みました。総じて3年次の活動では、座学を中心に、ミクロ・マクロ経済学や金融論の延長にあたる、様々な経済学を学ぶことができ、とても勉強になりました。

4年次では、地域振興について学ぶ



一環で、えんま市やレストラン「夕海」、「ハコニワ」などの見学や、日本各地の地域活性化に成功した事例などを学習しました。また産業連関分析について学びながら、Excelの活用法や地域経済分析システム「RESIS」の使い方などを学びました。4年次の活動では、3年次よりもより地域経済にフォーカスすることで、更に経済学を身近に感じることができました。

2年間のゼミナールでの活動は、とても面白く、経済学部らしい事柄を学ぶことができ、卒業論文の作成においても大いに参考になりました。

(経済経営学科4年 白井聖也)



地域実践教育に特色のある新潟産業大学では、3、4年次のゼミナールを「地域活性化ゼミナール」と位置付け、経済学、経営学の知識や手法を用いながら、地域活性化について実践的に学んでいます。ここでは経済経営学科の各ゼミナールの学びの様子を紹介いたします。

## 地域振興政策分野 阿部ゼミナール

阿部ゼミナールでは、お米の収益を利用した柏崎市内で使用できる地域通貨である「風輪通貨」の発行や、近年ではYouTubeやSNS等を利用した柏崎のお店紹介を発信する活動を実施しています。

2022年では柏崎市高柳荻ノ島にて田植えと稲刈りをさせていただきました。荻ノ島は茅葺きの屋根の家が見ることのできる自然豊かな山里です。無事に美味しいお米を作ることができたのはご指導、サポートしていただいた荻ノ島の皆様のおかげです。収穫し



たお米は風輪通貨の活動資金と学園祭での販売、催し物の景品になりました。続いて実施した活動はYouTubeでの動画発信です。主に風輪通貨を利用することのできる地元商店の魅力を伝えるため、一人で取材、撮影、編集を行ったり、グループで分担するなどしてお店の皆様と協力しました。なかにはお店の紹介だけでなく、バリアフリーに重きを置いた動画などもあり、どのような方でも無理なく利用することができると紹介した動画もあります。

(経済経営学科4年 品田怜奈)



地域通貨『風輪通貨』公式サイト  
<https://www.nsu.ac.jp/furing/>  
YouTubeチャンネルの動画も観られます。

## 企業経営分野 高橋ゼミナール

高橋ゼミナールでは、企業経営に関する基本的な知識や技能、企業の経営戦略などを2年間学ぶことができました。毎週、企業経営の著書をゼミ生全員で読んでいます。本の章ごとにまとめて、その内容について、調べたり考えたりしたことをゼミの授業で発表を行ったりもしています。

また、3年次から「経営学検定」をはじめとした各種資格試験にも積極的に取り組んでいます。ゼミナールとは別に高橋先生の資格対策講座を受けて、頑張つて勉強してきました！

さらには、ゼミナールとして大学の



イベントにも積極的に参加しています。10月に行われた紅葉祭では、模擬店でハンバーグを提供しました。模擬店コンテンツがあったのですが、昨年度惜しくも2位だったため、今年度は1位をとるために、1週間かけて試食をし、トッピングや値段などを入念に考えました。結果、今年度は1位を取る事ができました。ゼミ生全員で頑張つても良かったです。

4年次では柏崎の建設企業である「植木組」にフィールドワークに行きました。住み続けられるまちにする、地域貢献、ワークライフバランスなどといったSDGsに関連する取り組みについて学びました。

2年間、私はゼミ長をやるなど、ゼミナールでは色んな経験をさせていただき、ゼミ生や先生と、充実した活動をする事が出来たのでよかったです。

(経済経営学科4年 橋本竜平)

## 企業会計分野 安達ゼミナール

安達ゼミナールでは、経営学と会計学という2つの観点から多種多様な企業の分析方法を学び、その知識を応用して企業の背後にある経営者の理念や特色を知ることにより、就職活動での視野を広げることをテーマとして活動しています。

3年の前期では財務データを読み解く上での基礎となる会計学の入門書後期には組織ごとの戦略の違いを知るために会計から見えてくる経営学を学びました。

そして実践として、紅葉祭では安達ゼミ主催の「中国と新潟の企業を知るプロジェクト」の発表会を開催し、また柏崎商工会議所主催の「柏崎に関する研究発表会」に参加しました。



「中国と新潟の企業を知るプロジェクト」では、金物産業で有名な燕三条地域から同じアウトドア用品に携わっているパール金属とスノーピークをピックアップして両者の経営分析を行いました。

「柏崎に関する研究発表会」では、新潟県の製菓企業である洋菓子工房、米菓を専業とする亀田製菓と岩塚製菓の3社の経営分析を行い、それに基づき自分達がどの企業に就きたいかを発表しました。

ゼミナールでは学生同士で議論に重きを置き、上記の他にも帝国データバンクやブルボンなどにも訪ね、1年間で多くのことを経験することができました。

(経済経営学科3年 岩田桜也)

奥野飛龍)



# NSU 写真部



## 写真部の活動風景

### 写真部ってなーに？

一眼レフを持った部員で活動中！月に1度以上、みんなでイベントや水族館等に写真を撮りに行くので、新潟のイベントや四季を感じられ、地域の魅力を再発見することの出来る部活動です。  
このページでは、写真部の魅力について紹介します！

#### ・新潟県内



#### ・柏崎市



柏崎市内では海や山、滝など沢山の自然を撮りに！  
海の大花火大会では三脚を立てての撮影も！

#### ・冬フェス参加



「柏崎冬のフェスティバル」に参加！！  
初めて写真葉書の販売をし、沢山の方に購入してもらいました。

柏崎市外にも撮影に！！  
丘陵公園や大地の芸術祭、うみがたりなど、色々な場所や季節のイベントに行っています。



産大文芸部とコラボした写真葉書



2023.2.16

## 新潟地域連携コミュニティ 地域活動・学生発表交流会

2月16日「地域活動・学生発表交流会（成果報告・交流会）」が、オンラインで開催され、新潟県内の大学の学生、教職員等116名が参加しました。県内大学で地域連携活動に取り組む学生8チームが今年度の成果を報告。本学からは、権田ゼミ、金ゼミが発表しました。また、運営メンバーとして本学から5名が1年間、会の運営に携わって来ました。



▲県内大学の学生、教職員のみならず、自治体・企業関係者、県内高校生にもご参加いただきました。



▲運営メンバーの振り返り。1年間オンライン上で交流を深めてきました。

発表では、SDGsをテーマに活動を展開している団体や、アートサークル、バイオプロジェクト等、それぞれの専門性、テーマを活かした多彩な内容の報告が続き、今年度は、学生同士の親近感のある仲間づくりに繋げてほしいという意図から、新たに夏、秋2回の「講演&おしゃべり会」を開催。また、「ブラッシュアップ交流会」では、参加者からの様々な意見を、発表チームの活動に活かしてもらいました。実際に運営メンバーとしてお世話になった新潟大学の学生、職員の方に「えんま市」や「柏崎冬のフェスティバル」にも参加していただき、リアルな交流に繋げることができたのは、大きな収穫でした。新年度はオンライン、リアル両方の交流の場を模索し、交流会を一層盛り立てていければと思います。

2023.2.21

## 柏崎商工会議所 総合建設部会 柏崎に関する研究発表会



発表会となりました。産大からは、まちづくり、観光、農業、企業経営、スポーツと幅広い研究分野で、2年生から4年生の計5チームがこれまでの研究、活動成果を発表しました。一昨年から審査員による「最優秀賞」、「優秀賞」が選ばれていますが、今回は文化経済学科4年杉田有紀奈さん、経済経営学科4年橋本竜平さんの「まちかど研究室二大学共同プロジェクト」ご当地すぐろくかしワンドー（柏崎市を駆けめぐれ！）が「最優秀賞」を受賞しました（本誌3〜4頁も併せてご覧ください）。



▲当日の発表者。準備段階から大変頑張りました！  
審査結果は柏崎商工会議所 HP で見られます。



Twitter  
Instagram  
やっています！  
← NSU 写真部  
Instagram

写真部の活動の様子や、イベント等で撮影してきた写真などをあげています。ぜひ、チェックしてみてください！



## 【Information】

高校生のみなさんへ

# 新潟産業大学 文化部で 「強化指定部」がはじまります。

2024年度の入学選抜から、学校推薦型選抜「スポーツ・文化活動推薦型選抜」で、新たに、吹奏楽部、書道部、茶道部が「強化指定部」に加わりました。高校までの活動成果を新潟産業大学で活かしてみませんか？

## 茶道部

毎週木曜日に学内にある茶室で裏千家のお点前、お茶会での礼儀作法などを学んでいます。また、秋に行われる学園祭や学外でのお茶会、イベントなどにも積極的に参加しています。部員は少ないですが、楽しく活動中です。



## 書道部



毎週水曜日の15時から活動しています。学外活動も行い、具体的には、刈羽村文化祭などのボランティア活動、また、出雲崎町の良寛記念館「てまりの会」会員として作品出品・見学を行いました。これからも書道の良さを広めたいです。



## 吹奏楽部

学内外での演奏会の機会に参加し、演奏を楽しみ、各自のスキルアップを目指しています。今年度は学園祭と「柏崎冬のフェスティバル」で附属高校吹奏楽部と合同演奏を行いました。今後、附属高校との連携を一層強化していく予定です。



本ページで紹介した学校推薦型選抜「スポーツ・文化活動推薦型選抜」について、出願資格など詳しくは「2024年度 入学試験要項」(2023年5月頃から配付)をご覧ください。

### 【お問い合わせ】

入試課：0120-787-124

産大生と地域のかけ橋

## ローカレッジ Vol.15

2023年3月25日発行

編集・発行責任者

新潟産業大学 経済学部講師

権田 恭子

※この冊子に関するご意見・ご感想をお寄せ下さい。

今後の参考にさせていただきます。

〒945-1393 柏崎市軽井川4730番地

新潟産業大学 地域連携センター

TEL：0257-24-8441

FAX：0257-22-1300

Email：renkei@ada.nsu.ac.jp

前号から2か月あまりでの発行となりましたが、この間、①3年ぶりの「柏崎冬のフェスティバル」の開催と大成功、②「柏崎に関する研究発表会」で、まちかど研究室二大学共同プロジェクトが「最優秀賞」受賞という、これまでの集大成とも言える貴重な機会をいただきました。いずれも、「新しい生活様式」の中で、試行錯誤を繰り返しながらも、本誌表紙にも掲げている「地域連携活動を止めるな!」という共通理解のもと、アクションを起こし続けた3年間で、悩み、考え、学んできたすべてが結実した賜物と感じています。望むはずもなかった突然の「世界の変化」からも、若者たちは多くを掴み取り、自身のかけがえのない財産へと昇華させて来ました。

卒業式の翌日、ゼミの歓送迎会を開催しました。イベント等に出向く機会が多い分、こうした機会は極力自重していましたが、今春の卒業生を中心に、前年度卒業のOBも多数駆けつけ、苦悩の中でも決して腐らず、共に歩を進め、仲間の輪を育てて来られたことを喜び合いました。

編集スタッフ：

文化経済学科4年 権田ゼミナール

市橋 舞紀 杉田 有紀奈 本間 陸斗 吉越 耀

文化経済学科3年 権田ゼミナール

飯島 康貴 木内 亮吾 山本 弘弘

文化経済学科1年 本田 翔大

(学年は2023年3月現在のものです)

